

# 算 数

(小学校第 5 学年)

## 注 意

- 「はじめ」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- この問題には、じょうぎ、コンパス、分度器が必要です。
- 下のらんに、組、出席番号、名前を書きましょう。
- 「はじめ」の合図があつたら、別に配られている解答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（基本）」からはじめましょう。
- 問題用紙は、全部で 10 ページあります。  
「A問題（基本）」は、6 ページで、問題は **5** まであります。  
「B問題（活用）」は、4 ページで、問題は **2** まであります。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が 25 分、「B問題」が 15 分です。  
時間に気をつけて解きましょう。  
早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 答えは、解答用紙の決められた場所に、はっきりと書きましょう。
- 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげましょう。  
問題の内容などのしつ問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（基本）	<b>1 2 3 4 5</b>	25 分
B問題（活用）	<b>1 2</b>	15 分
合 計		40 分

5 年	組	番	名前
-----	---	---	----

## A 問 題

時間(25分)

**1** あとの(1)～(8)の問題に答えましょう。

(1)  $5 + 2.3$  を計算しましょう。

(2)  $2 + 8 \div 2$  を計算しましょう。

(3) 3億4000万+1億8000万 を計算しましょう。

(4)  $13 \div 6$  を計算し、商を四捨五入で、 $\frac{1}{10}$  位までのがい数で表しましょう。

(5) 1より小さい数を、次のア～オからすべて選び、記号で答えましょう。

ア  $\frac{1}{2}$

イ  $1\frac{2}{3}$

ウ 0.92

エ 1.4

オ  $\frac{7}{4}$

- (6) 2 mのテープを4<sup>とうぶん</sup>等分すると、1 つ分が何mになるか、次のア～エから1 つ選び、記号で答えましょう。

ア  $\frac{1}{2}$  m

イ  $\frac{1}{4}$  m

ウ 1 m

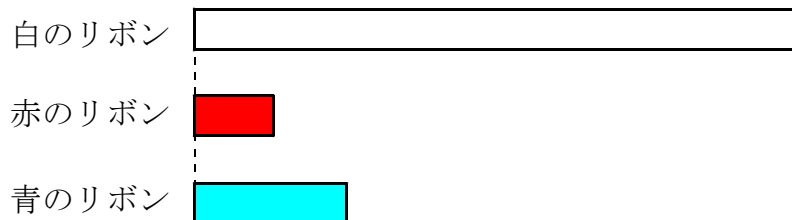
エ 2 m

- (7) たかしさんは、 $16 \times 4 + 14 \times 4$  の計算について、次のようにくふうして計算しました。

次のア、イ、ウにあてはまる数をかきましょう。

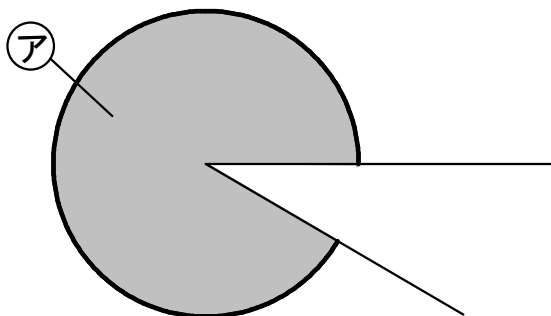
$$\begin{aligned} 16 \times 4 + 14 \times 4 &= ( \text{ア} + \text{イ} ) \times \text{ウ} \\ &= 30 \times 4 \\ &= 120 \end{aligned}$$

- (8) 白のリボンの長さは、赤のリボンの長さの8倍で、青のリボンの長さの4倍です。青のリボンの長さは、赤のリボンの長さの何倍か答えましょう。



**2** 次の(1)～(3)の問題に答えましょう。

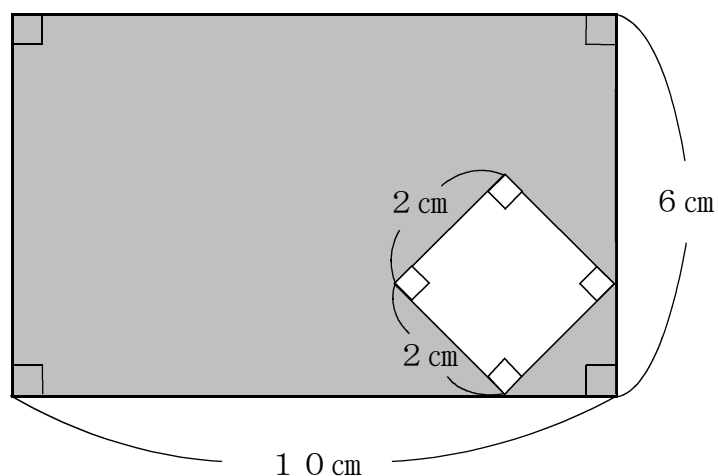
(1) 分度器<sup>ぶんどき</sup>を使って、次の㉗の角の大きさを答えましょう。



(2)  $1\text{ m}^2$ は、 $\square\text{ cm}^2$ です。 $\square$ は、どのように求めればよいですか。求める正しい式を、次のア～オから1つ選び、記号で答えましょう。

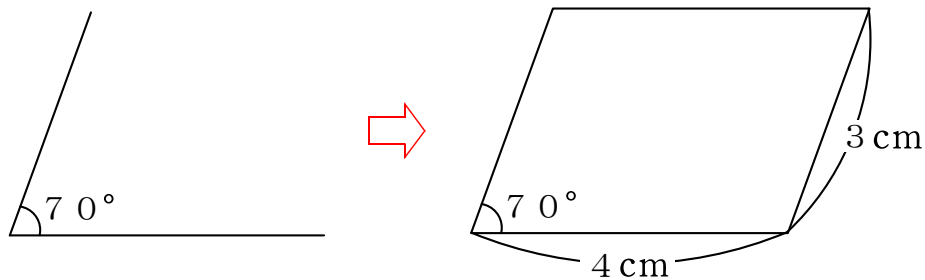
- ア  $10 \times 10$
- イ  $10 \times 100$
- ウ  $100 \times 100$
- エ  $1000 \times 100$
- オ  $1000 \times 1000$

(3) 次の  部分の図形の面積を求めましょう。

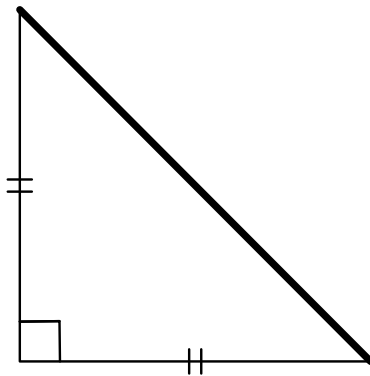


3 次の(1)～(3)の問題に答えましょう。

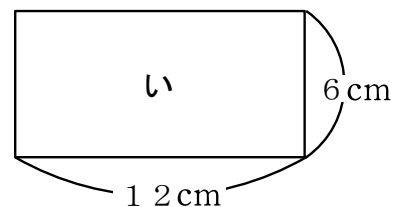
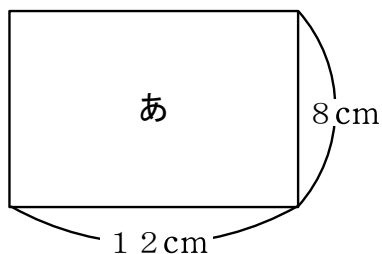
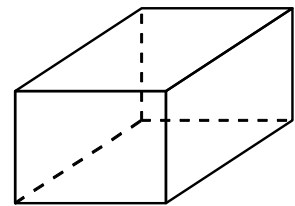
- (1) 次の図に続けて、右にある平行四辺形を、コンパスとじょうぎを使ってかきましよう。図は、解答用紙にかき、コンパスの線のあとは、必ず残しておきましょう。



- (2) ある四角形を1本の対角線<sup>たいかくせん</sup>で切り分けました。すると、次のような同じ三角形が2つできました。太い線は切り分けたときの対角線を表しています。もとの四角形の名前を答えましょう。



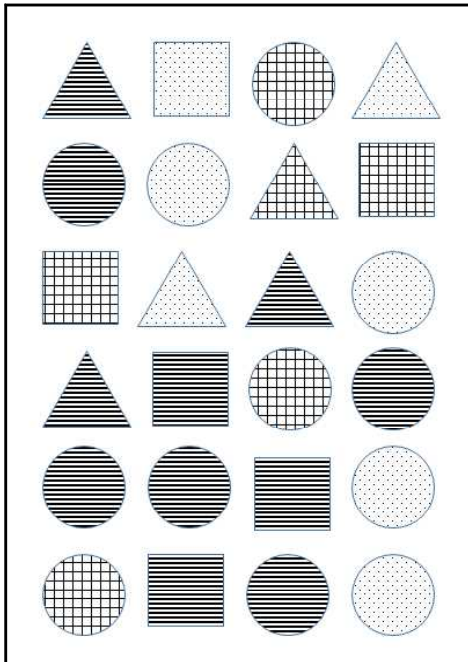
- (3) 右のような直方体の箱<sup>ちよくほうたい はこ</sup>を作ろうと思います。材料をさがしたら、次のあといの長方形の板がそれぞれ2まいずつありました。あといを面として使って箱を作るには、ほかにどんな形の板が必要です。下のア～ウにあてはまる数をかきましよう。









たて  cm, 横  cmの長方形の板が  まい必要です。


- 4 次の＜図＞の中にかかれています図形を，形ともようで分け，その数を＜表＞に整理します。下の(1)～(3)の問題に答えましょう。

＜図＞

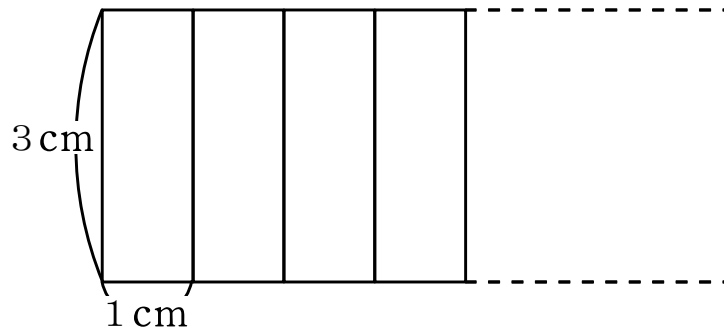


＜表＞

もよう 形				合計
	ア	イ	ウ	エ
	オ	カ	キ	ク
	ケ	コ	サ	シ
合計	ス	セ	ソ	タ

- (1) ＜表＞のキにあてはまる数をかきましょう。
- (2) ○と□では，どちらが何こ多いか答えましょう。
- (3) 上の＜図＞に  を1つ付け加えます。＜表＞でいえば，どこの数が変わりますか。＜表＞のア～タから，変わるところをすべて選び，記号で答えましょう。

- 5** たての長さが 3 cm の長方形があります。横の長さが変わると、長方形の面積がどのように変わるかを調べました。  
 下の (1)～(3) の問題に答えましょう。



- (1) 横の長さが 1 cm ずつふえると、面積はどのように変わりますか。表のあいているところに数をかきましょう。答えは、かい解答用紙の表にかきましょう。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	...
長方形の面積 (cm <sup>2</sup> )	3				15	...

- (2) 横の長さを  $\triangle$  cm、長方形の面積を  $\square$  cm<sup>2</sup> として、 $\triangle$  と  $\square$  の関係を式にかきましょう。

- (3) 面積が 36 cm<sup>2</sup> のとき、横の長さは何 cm になるか答えましょう。

## B 問 題

時間(15分)

- 1 けいすけさんたちは、 $0.3 \times 4$  や  $2.5 \times 12$  のような小数 $\times$ 整数の計算のしかたについて説明しています。下の(1)，(2)の問題に答えましょう。

### 【けいすけさんの計算のしかた】

$0.3 \times 4$  の計算のしかたについて説明します。

$0.3$  は、 $0.1$  の3こ分です。

$0.3 \times 4$  は、 $0.1$  の  $(3 \times 4)$  こ分です。

だから、 $0.3 \times 4 = 1.2$  です。

### 【ゆうこさんの計算のしかた】

私も、けいすけさんと同じような計算のしかたで  $2.5 \times 12$  を説明します。

$2.5$  は、 $0.1$  の ア こ分です。

$2.5 \times 12$  は、 $0.1$  の  $($  ア  $\times$  イ  $)$  こ分です。

だから、 $2.5 \times 12 = 30$  です。

- (1) ア，イ に入る数をかきましょう。ただし，ア には、同じ数が入ります。
- (2) たつろうさんは、ゆうこさんが説明していた計算のしかたを聞いて、別のしかたを考えました。

### 【たつろうさんの計算のしかた】

3年生のころ、 $25 \times 4 = 100$  という式と答えを覚えておく<sup>おぼ</sup>と便利<sup>べんり</sup>だということ<sup>こと</sup>を先生に教えてもらいました。

$25 \times 36$  を例にして説明します。

$$\begin{aligned} \text{(例)} \quad 25 \times 36 &= 25 \times (4 \times 9) \\ &= (25 \times 4) \times 9 \\ &= 100 \times 9 \\ &= 900 \end{aligned}$$

となります。だから  $2.5 \times 12$  も例にならって説明すると、

$$\begin{aligned} 2.5 \times 12 &= \boxed{\phantom{000}} \\ &= \boxed{\phantom{000}} \\ &= 10 \times 3 \\ &= 30 \end{aligned}$$

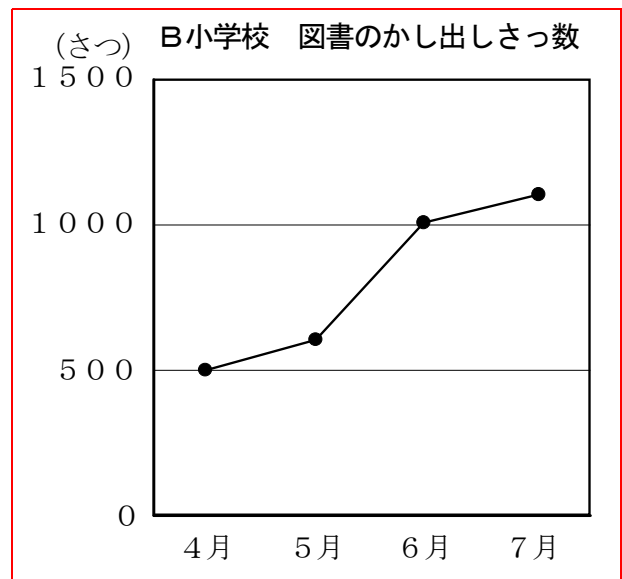
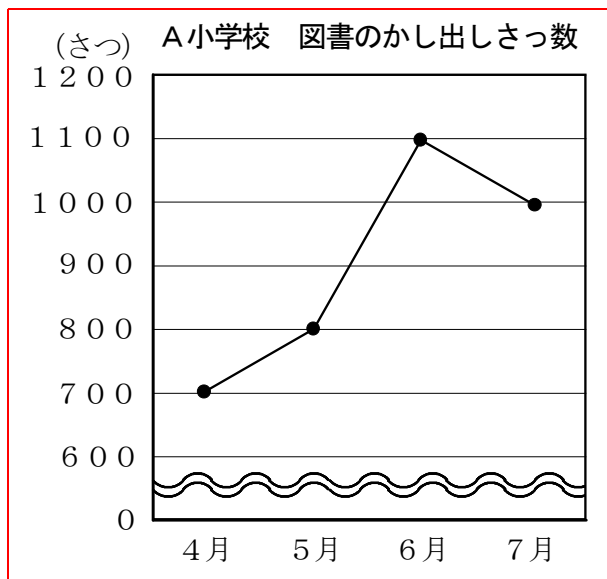
となります。

たつろうさんが考えた、しかたの「 $25 \times 36$ 」の例にならって、  に入る式を  $( )$  を使ってかきましょう。



次のページに**2**の問題があります。

- 2 A小学校とB小学校では、それぞれ図書委員会で読書活動を進め、その成果を表した折れ線グラフを作成しました。あとの(1)～(3)の問題に答えましょう。



- (1) A小学校において、6月のかし出しさつ数は、4月のかし出しさつ数とくらべて、何さつふえているか答えましょう。
- (2) けんたさんたちは、B小学校の5月のかし出しさつ数について次のような会話をしています。

けんたさん：B小学校の5月のかし出しさつ数は、何さつと言えるかな？  
 ようこさん：A小学校のように、目もりが100さつずつきざまれているわけではないので、はっきりとわからないなあ。  
 みゆきさん：でも、ある程度<sup>ていど</sup>の目安はわかるんじゃない？  
 ようこさん：そうだね。500さつよりは多くて、1000さつよりは少ないね。  
 みゆきさん：もっと、はん囲をせまくできないかな？  
 けんたさん：あ！ そうか！ 750さつよりは少ないね。  
 ようこさん：え？ どうして、750さつより少ないって言うの？  
 けんたさん：だって、( ① )さつと( ② )さつの真ん中を考えると( ③ )さつで、そこよりも( ④ )場所にあるから750さつよりも少ないでしょ？  
 ようこさん：なるほど。そう考えると、750さつと500さつの真ん中で考えると625さつで、そこよりも低い場所にあるから625さつよりも少なさそうだね。  
 みゆきさん：B小学校の5月のかし出しさつ数は、だいたい600さつぐらいかな。  
 けんたさん：そうだね。

①～④にあてはまる数やことばの組み合わせとして正しいものを，次のア～エから1つ選び，記号で答えましょう。

- |   |           |           |           |      |
|---|-----------|-----------|-----------|------|
| ア | ① 1 5 0 0 | ② 5 0 0   | ③ 1 0 0 0 | ④ 低い |
| イ | ① 5 0 0   | ② 1 0 0 0 | ③ 7 5 0   | ④ 高い |
| ウ | ① 1 5 0 0 | ② 1 5 0 0 | ③ 1 0 0 0 | ④ 高い |
| エ | ① 5 0 0   | ② 1 0 0 0 | ③ 7 5 0   | ④ 低い |

- (3) ともかさんは，前ページの2つの折れ線グラフの5月から6月までのかし出しさつ数の変化のようすを見くらべて，次のように言いました。

B小学校にくらべてA小学校のほうが，5月から6月までの線のかたむきが急です。

だから，B小学校にくらべて，A小学校の方が，5月から6月までのかし出しさつ数の増え方は大きいです。

ともかさんが言っている          線部のことは正しくありません。そのわけを，具体的に増えたかし出しさつ数を求め，説明しなさい。

なお，B小学校の5月のかし出しさつ数は6 0 0 さつとします。